



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 37 号
令和 3年 9月30日

緊急事態宣言解除後の学校生活について

校長 古市 直彦

本日をもって緊急事態宣言解除となりますが、今後の学校生活に関しまして、千葉市教育委員会より次のような指針が出ております。

<原則>

- 1 可能な限り子供の活動が制限されることのないよう、従来の教育活動を再開すること。
- 2 教育活動再開にあたっては、学校や地域の実情及び感染状況を鑑み、段階的に行うように十分に配慮すること。
- 3 引き続き、感染症対策を十分に講じたうえで、児童生徒が安全・安心に学校生活を送れるように取り組むこと。



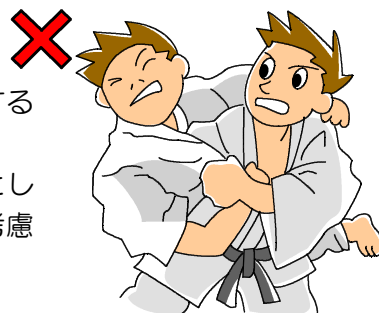
<具体例>

①音楽の学習について

- ・歌詞や音程等を確認するための会話程度の声量、あるいはハミングで行う。従来の授業のような声量は出さない。
- ・合唱の場合、マスク着用の上、複数の教室・体育館・屋外等を使い、一定方向、前後左右2mの距離を保って行うなどの工夫をする。

②保健体育の学習について

- ・児童生徒が密集する運動や、近距離で組み合ったり接触したりする運動については、十分な配慮をした上で実施する。
- ・用具の準備や片付けなど運動を行っていない際は、感染症対策として可能な限りマスクを着用するが、運動時は身体へのリスクを考慮しマスクの着用は義務づけない。



③部活動について

- ・10月1日より10月14日までは「体力・技術回復期」とし、以下の点に留意すること。
- ・平日・休日ともに90分程度の活動とすること。
- ・活動は週4日とし、部活ごとに週3日の休養日（平日2日・休日1日）を設けること。
- ・朝練習は行わないこと。
- ・接触の多い活動等「感染リスクの高い活動」は時間を制限して行うこと。
- ・呼気が激しくなる運動時以外（ミーティングや更衣時を含む）はマスクを着用すること。（マスクは、不織布が望ましい。）
- ・校内での活動とし、練習試合、合同練習、演奏会などについては行わないこと。

本校では、段階的な対応として、朝の時差登校を前期いっぱい継続します。明日、10月1日は1・3・5組が早登校（8：10）、2・4・6・8組が遅登校（8：20）となります。また、部活動の再開に向けて、本日以降で部活動ごとにミーティングを行い、今後の活動について説明いたします。

なお、今後、教職員や児童生徒等を対象とした抗原簡易キットが国から配布される予定ですが、児童生徒が登校後に体調不良を訴えた場合、速やかに帰宅させ、医療機関を受診するよう促すことが最優先であることから、千葉市では、小学校（小学4年生以上）及び中学校の児童生徒に対する抗原簡易キットの活用は、現在のところ、想定していません。今後も、健康観察を丁寧に行い、保護者の皆様と連携を取りながら対応してまいります。よろしくお願いいたします。

本年度の合唱コンクールについて

校長 古市 直彦

新型コロナウイルス感染防止に向けての緊急事態宣言が解除され、段階的に様々な制約が解除されていくことになりましたが、生徒の皆さんには、残念なお知らせをしなければなりません。

本年度、本校の合唱コンクールは実施しないことにいたしました。

判断の理由は、主に以下の4点です。

- ① 10月からも音楽の学習には制限がかかりますし、秋休みがある関係で、音楽の授業自体が各クラス2回から3回程度しかありません。これまでの学習の中で、聴くことを中心に各パートの音取りを進めてきてはいますが、残り2回から3回しかない授業の中で、合唱を完成させていくことは難しく、各クラスで、かなりの練習を重ねていく必要があります。
- ② 緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルス感染のリスクがなくなったわけではありません。各クラスで練習を重ねていく際には、ディスタンスを確保するため、いくつかの教室に分かれて練習したり、時間差をつけて練習したりする必要があります。今後、日没も早くなっていきますし、部活動が再開されれば、放課後の時間は限られてきます。何をどう優先して活動していくか…という問題も出てきそうです。
- ③ たとえ、マスクをつけた上だとしても、大きな声を出して歌っていくことに、不安を感じる生徒の皆さんや保護者の皆様も多いことでしょう。
- ④ ワクチン接種の副反応により体調を崩している生徒や、感染予防のために登校を控えている生徒が、少なからずいる状況が続いています。このような状態の中では、クラス全員が集まって心を一つにして練習したり、本番で歌い上げたりすることは難しいと考えました。

自然教室も行けておらず、修学旅行も延期になってしまっている3年生だけでも、何とかやらせてあげることができないか…、時期をさらに遅らせて学校（体育館）で実施するのはどうか…、等も考え、3年生の先生方とも協議しましたが、進路決定を間近に控えた3年生だからこそ、今はリスクを避けるべきだと考えました。

また、本年度、合唱コンクール実行委員の皆さんが設定してくれていたスローガンは、次のようなものでした。



史上最響 ～クラスの仲間と最高の合唱を～

クラスの仲間と協力して練習を重ね、本番では若松中学校史上一番の合唱をホールに響かせようという思いを込めてくれた、すばらしいスローガンでした。

歌声を響かせることはできなくなりましたが、心を響かせ共鳴させることは普段の生活でもできます。生徒の皆さんには、クラスの仲間と最高の信頼関係を創りあげながら、普段の生活に、そして学習に取り組んでくれることを期待しています。



校報「若松中だより 第37号」をお届けします。ご意見やご感想を広く募集しております。お気づきの点等ございましたら、下記までご連絡ください。

(千葉市立若松中学校 校長：古市 直彦 ☎043-232-6125)